

政務活動報告書（県内）

年月日	活動先			政務活動の内容	関連領収書 番号
	住所	活動先の名称	対応者		
R2. 5. 28	鳥取市	議会棟	県執行部	政務調査会	0511
R2. 6. 4	境港市	SANKO 夢みなと タワー	鳥取県産業振興 機構とっとり国 際ビジネスセン ター 市村センター長	海外ビジネス勉強会参加	0608
R2. 8. 19	鳥取市	議会棟	県執行部	政務調査会	0809
R2. 8. 28	鳥取市	議会棟	県執行部	政調政審	0818
R2. 8. 29	大山町	ホテル大山しろ がね	鳥取県夏季農業 講座実行委員会	第37回鳥取県夏季農業 講座参加	0821
R2. 9. 3～4	鳥取市	議会棟	県執行部	9月定例会勉強会	0902
R2. 10. 9	倉吉市	円形劇場くらよ しフィギュアミ ージアム		施設概要及び施設整備の 経緯調査	1004
R2. 11. 12	鳥取市	鳥取大学	竹村圭弘氏	国産花粉ビジネス調査	1108
R2. 11. 13	鳥取市	議会棟	県執行部	政務調査会	1109
R2. 12. 18	鳥取市	議会棟	県執行部	政務調査会	1208
R3. 2. 9	鳥取市	議会棟	県執行部	政調政審	0206
R3. 2. 24	鳥取市	議会棟	県執行部	政務調査会	0215
R3. 3. 3	鳥取市	議会棟	県執行部	農林水産商工勉強会	0302
R3. 3. 19	鳥取市	議会棟	県執行部	農林水産商工勉強会	0323

政務活動報告書

活動事項	地場産業林産業活用
活動年月日	令和2年7月22日(水)
場所	ミヨシ産業広島営業所 広島市安佐南区伴南5丁目5-11
活動の相手方	ミヨシ産業広島営業所 所長 斎藤正公氏・住吉泰治氏
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 CLT材を用いた建築資材建物等販売、特に鳥取県産材を使用している事業所の視察</p> <p>【内容】 株式会社ミヨシ産業は、米子市に本社を置き島根・岡山・広島等に営業所を持ち、県産材のCLT加工所があり、建築販売、エネルギー事業等幅広く事業展開している。なかでも広島営業所の社屋は、鳥取県産材だけを使ったCLTで建築されている。新型コロナウイルスでの影響で国産材・財価とも低迷しているが、CLTを使った住宅建設に一定の評価を得ている。</p> <p>【結果(成果)等】 CLTの特徴である無柱で広い倉庫に感心させられた。 CLT仕様の住宅はまだ少し単価が高いが、国や県の協力を仰ぎ、さらに販売促進が図られるともっと伸びていく企業と思った。 この会社は、経済産業省から「地域未来牽引企業」に認定されているので、これからこのような企業が飛躍し、県産材の利用促進に期待したい。 今後の議会質問等に反映させていきたい。</p>
関連領収書番号	0711, 0713, 0714, 0717

政務活動報告書

活動事項	広島県の県営博物館の運営状況
活動年月日	令和2年7月23日(木)
場所	福山市西町2-4-1 広島県立歴史博物館
活動の相手方	館長 地頭所久美子様 学芸課長兼草戸千軒町遺跡研究所長 木村信幸氏
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 広島県における博物館の運営状況についての調査</p> <p>【内容】 平成元年11月3日にオープンした、愛称を「ふくやま草戸千軒ミュージアム」草戸千軒町遺跡から出土した中世民衆生活資料や、管茶山にかかわる黄葉夕陽文庫資料をはじめとした近世文化資料を中心に歴史資料の収集保管、調査研究を進め、県民の学習活動を推進している。 鉄筋コンクリート地上2階地下1階建 5481, 83㎡</p> <p>【結果(成果)等】 昭和52年に県・新長期総合計画で計画され平成元年に開館された。収蔵庫には、これから国の重要文化財に指定されるだろうとの貴重なものが、数々あるのには驚かされた。 平成10年頃までは、約45,000人の来場者であったが、その後は、35,000人くらいで推移しているとのこと。開館10年目頃までは、どこも調子がいいが、その後は厳しいようだ。 平成10年に「冷泉家の至宝」を企画したら、150,000人もの来場者があったとのこと。しかし、平成26年「手塚治・石ノ森章太郎」展を企画しても15,000人しか来館者がなく、大赤字となった。経済的にも非常に厳しい状況であることがわかった。また県予算も少なく担当者の苦慮されている様子を聞くことができた。 今後の議員活動に大いに役立つ内容であった。</p>
関連領収書番号	0711, 0713, 0714, 0717

政務活動報告書

活動事項	林活議連による今後の林政のあり方の調査
活動年月日	令和2年10月29日(木)
場所	農林水産省林野庁 参議院会館 東京都千代田区霞が関1丁目2番1号
活動の相手方	林野庁整備課長 長崎屋圭太氏 経営課長 上杉和貴氏 林野庁長官 本郷浩二氏 参議院議員舞立昇治秘書 浅井威厚氏
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 平成3年度林業情勢の課題調査</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主伐後の再造林確保に向けてその進まない理由・森林管理制度による林業経営者への経営委託の活用 ・伐採と造林の一貫作業の導入 ・植栽密度の低減と下刈りの省力化 ・苗木安定供給体制の構築 ・エリートツリー等の拡大 ・森林における鳥獣被害対策 ・高収益作物次期策支援交付金について <p>【結果(成果)等】</p> <p>再造林の進まない理由は費用負担が大きいことであり、そのためには</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 造林適地選定の適正化をはかる 2. 苗木安定供給体制の構築 3. エリートツリー等の原種苗木の増産採種採穂園の造成 4. 国有林でモデル林を設定するなど施行体系を整理しつつ、エリートツリー苗木の利用拡大をはかる <p>鳥獣被害対策の強化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 林業関係者のシカ捕獲への参画の促進や、関係機関や猟友会など地域関係者が連携した実行体制の確立を図る 2. シカ捕獲や生息状況把握に関する新たな技術開発、実証を促進 <p>ドローン等を活用した林業の実験など、各方面からもレクチャーを受けた。皆伐期に入った日本の人工林を、今後どの様に処理し、どのような苗をどのように経費もかけず植栽するのが課題だ。 営農継続を支援するための事業では、次期策支援金等で支援していくとのことだ。</p>
関連領収書番号	1012, 1013, 1014

政務活動報告書

活動事項	国のクリーンコール政策である「COOLGEN計画」を実現していくという「革新的低炭素石炭火力発電」の実現を目指した実証試験プロジェクトの研究電気エネルギーの安定供給事業について
活動年月日	令和2年11月19日(木) 令和2年11月20日(金)
場所	広島県豊田群大崎上島町中野6208-1 広島県広島市中区小町4-33
活動の相手方	大崎クールジェン株式会社 代表取締役社長 木田一也氏 中国電力㈱ 電源事業本部立地部長 森田秀樹氏 中国電力ネットワーク㈱ 系統運用部中央給電指令所所長 陰山浩志氏
目的・内容・結果等	<p>【目的】 究極の高効率石炭火力発電である石炭ガス化燃料電池複合発電の基盤技術である酸素吹石炭ガス化複合発電および二酸化炭素分離回収技術に関する大型実証設備の建設および試験実施と鳥取県及び中国地方の電力供給システムについて</p> <p>【内容】 従来の石炭を燃やし蒸気力でタービンを回していたものを、石炭をガス化してタービンをまわし、排気ガスを回収しその熱でも利用し発電するもの。また、その時発生するCO₂を回収し利用方法の研究。H₂もとりだし利用方法の研究。</p> <p>【結果(成果)等】 従来の火力発電所の敷地を利用しつつ、発電効率を上げる(40%-46%になる)とともに、炭素を分離回収しその利用方法を研究することになっている。たとえばCO₂をトマト等植物に与え、成長促進に役立たせる。またコンクリート材料への利用。一方、酸素もできるので液化酸素の利用方法も考える。現在、工場の完成予定は2022年で、研究もまだ途中であるので、完成後の成果に期待したい。これからの研究次第ではCO₂削減技術が、世界のトップクラスになるかもしれない。</p> <p>北九州から中国四国地方に供給している電力を、需要と供給のバランスを(発電と消費電力)常に一定に保つことはどれだけ大変なことかと改めて知った。特に太陽光発電、風力発電など、常に一定でない電気をその他の電力でカバーしてコントロールしていくことは、AIがすると思っていたが、最後は、やっぱり人が微妙なところ指示しなければいけないと聞き感心した。</p> <p>現在、世界の電力供給技術を100%自然エネルギーで賄うことはできない。その中で、今後CO₂の排出規制もどんどん厳しくなっていく。この視察であらためて電力エネルギーの大切さを感じた。</p>
関連領収書番号	1110

政務活動報告書

活動事項	中海周辺観光振興地実態調査
活動年月日	令和3年2月15日(月)
場所	境港管理組合会議室・水木しげるロード (境港市大正町) 由志園 (松江市八束町波入1260-2) 足立美術館 (安来市古川町320)
活動の相手方	境港市建設部長 灘 英樹氏 由志園 営業企画部次長 藤原資史氏 足立美術館 館内担当者さん
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 先進的観光地における新型コロナウイルス感染症の影響と対策</p> <p>【内容】 10:30~11:40 境港管理組合会議室・水木しげるロード 13:30~14:30 由志園 15:30~16:30 足立美術館</p> <p>【結果(成果)等】 全国的に変異ウイルスによる感染が急速に拡大し、第4波の到来とも言える状況になりつつある。県内においても、相次ぎクラスターが発生し感染者数も増加しているなか、感染経路が多様化し、もはやどこで感染しても不思議でなくなっている。山陰での新型コロナウイルス感染症対策として、入場ゲート付近でのサーモグラフィ等による検温、館内各所での除菌用アルコール設置、定期的な換気や清掃、お客様間への注意喚起など徹底して対策しておられることが確認できた。 これから状況に合わせた「命を守り、生活を守る」取り組みを提言していきたい。</p>
関連領収書番号	0209, 0210, 0211

政務活動報告書

活動事項	竹島問題に関する学習調査
活動年月日	令和3年2月22日(月)
場所	竹島資料室 松江市殿町1
活動の相手方	島根県庁総務課竹島資料室 職員 島根大学 船杉力修先生、竹島問題研究会委員 升田優先生
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 竹島の歴史を学ぶ</p> <p>【内容】 1618年徳川幕府の許可を得て、米子の大谷・村川両家鬱陵島への渡海が認められてから2018年、内閣官房が東京に「領土・主権展示館」を開館させるまでの歴史資料を詳しく聞いた。 島根大学の船杉力修先生、竹島問題研究会委員升田優先生等に詳しく説明を受けた</p> <p>【結果(成果)等】 2019年米国国立文書館より、1953年に作成された米国政府作成航空図2点が発見され、そこには『竹島が我が国の領土』とはっきり記載されている。このようなことを見るにつけ、不当な韓国侵略は許せるものではない。 以前議会で質問した経緯もあり、たいへん参考になる調査であった。</p>
関連領収書番号	0213